



「学校だより」第04号 文責 川田
令和 5年(2023年) 5月27日
HPで公開中 www.jss.edu.sg

授業参観・学級懇談会

5月13日、授業参観、学級懇談会を実施しました。今年度の授業がスタートしてから4回目の授業日と、日の浅い中ではありましたが、子どもたちの一生懸命に学習する姿をご覧いただけたのではないかと思います。多くの保護者の皆様にお集まりいただき感謝申し上げます。

また、この日は、授業参観に先立ち「PA総会」も開催されました。この時期に参集型で総会が開催されるのは実に4年ぶりのことです。奥会長を中心に今年度のPA活動が盛会となりますことを祈念いたします。

以下、学習での児童生徒の作品を紹介します。

物語教材「きつつきの商売」の続きの創作 小学部3年生

ぶなの森にふっていた雨がやみました。そして、かぜがふきはじめました。きつつきは言いました。

「ちょうどいい。これをおとやのとくとくとくとくとくとくとくべつメニューにしよう。」

おおかみは、新しいメニューをゆびさして、

「これをたのむぜ。」

と言いました。

「いくらだい。」

「500リルです。」

「今はお金をたくさんもっているから、はらえるぞ。」

「しょうちしました。では、いいですか。しずかに目をとじて聞いてください。」



授業参観（小学部2年2組）

おおかみは、耳をすましてまちました。

強い風が、ビュービュービュー。

ブナの木ゆれて、ミシミシミシ。

葉っぱがゆれて、パタパタパタ。

「おお、聞こえる、風の音だ。ぶなの森が風にふかれていろんな音を作っているな。こんどは、おれのなかまにも聞かせてやりたいな。」

○会話文や擬音語の使い方がとても上手です。

物語教材「シンシュン」を読み深めた後の感想 中学部1年 須藤瑞寧

私は、中学校で4、5人がグループになってプロジェクトワークの課題をする事があります。みんなが意見を出して、いろんなことを決めなくてはなりません。

たまに、私の考えが友達と違う時、自分の意見を言うのをためらってしまう事があります。友達に嫌われたくないからです。けれど、そんな理由で自分の意見を言えないのは悲しいと思います。自分の本音を話すことで、「シンシュン」の二人みたいにもっと関係が良くなる事もあると思います。だから、私も自分の気持ちも言えるようになりたいです。

○物語の主人公と自分を重ね合わせ、自分自身を振り返っているのがすばらしい。

避難訓練

シンガポールは世界の中でも安全度の高い国と言われておりますが、いつ、いかなることが起きるかは分かりません。今回は、学校での火災に対して、子どもたちが適切な避難行動を取ることができるかを確認するとともに、防災や安全意識を高めさせることを目的として訓練を実施します。

避難後、私は、今回のキーワードである「お・は・し・も（おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない）」についてのみ、子どもたちに評価も含めて話をする予定です。でも、本当は・・・子どもたちに伝えたいことがたくさんあります。まず、伝えたいことは、今回の訓練において「お・は・し・も」は大事なことだけれど、万能ではないということです。

私は、12年前の東日本大震災において、知人や教え子をたくさん亡くしました。走らないため（正確には“お年寄りなど走れないため”）命を失ったり、しゃべらなかったため（情報収集しなかったため）命を落としたり、といったことを見聞きました。

では、その教訓を踏まえたとき、どんなことが大事であるのか……。私は、子どもたちに「自ら感じ、考え、想像し、正しく行動できる力を付けること」こそが最大の防災教育であると考え、これまで私なりの取組を続けてきました。PA総会時にもお話しさせていただきましたが、「感じ、考え、想像し、表す」、一言でいうと「国語力」というものは、避難行動においても重要であり、生きる力になるものと考えます。

機会があれば、子どもたちにも直接お話しできればと思っています。



授業参観（中学部3年生）